

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 奈良県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	五條病院	2
奈良市	市立奈良病院	3
大和高田市	大和高田市立病院	4
生駒市	生駒市立病院	5
宇陀市	宇陀市立病院	6
大淀町	大淀病院	7
国保中央病院組合	国保中央病院	8
南和広域医療企業団	南奈良総合医療センター	9
南和広域医療企業団	吉野病院	10
南和広域医療企業団	五條病院	11

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	奈良県
		市町村・組合名	
		病院名	五條病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,364,316	
決算規模（千円）	506,792,689	
標準財政規模（千円）	322,377,349	
財政力指数	0.43049	
経常収支比率（%）	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.7
	将来負担比率（%）	156.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,245			
1 経常収益	6,245			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,245			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	6,245			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,245			
2 経常費用	6,245			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,245			
(うち支払利息)	6,245	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	6,245
資本勘定繰入	-	168,108
計	-	174,353

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	奈良県
	市町村・組合名	奈良市
	病院名	市立奈良病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	29,064 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	349	86.6	80.2	81.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	1	55.5	41.6	0.3
計	350	86.5	80.1	80.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.5	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	360,310	
決算規模(千円)	128,910,579	
標準財政規模(千円)	76,173,401	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	137.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	797,034			
1 経常収益	782,000			
(1) 医業収益	46,922			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	46,922			
(うち他会計負担金)	46,922			
(2) 医業外収益	735,078			
(うち国・都道府県補助金)	48,640			
(うち他会計補助・負担金)	427,128			
(うち長期前受金戻入)	207,619			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,034			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	848,586			
2 経常費用	847,490			
(1) 医業費用	736,317			
職員給与費	25,595	54.5	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	273,205	582.3	9.0	9.3
経費	437,517	932.4	23.3	22.1
(うち委託料)	435,866	928.9	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	111,173			
(うち支払利息)	1,578	3.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	1,096			
損益				
経常損益	-65,490			
純損益	-51,552			
累積欠損金	1,382,931			
経常収支比率	92.3		97.7	96.4
医業収支比率	6.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	60.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	1010.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	59.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	36.3		85.7	85.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,350,497
1 固定資産	6,935,245
(1) 有形固定資産	6,928,826
(2) 無形固定資産	6,419
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	415,252
(1) 現金及び預金	381,794
(2) 未収金及び未収収益	34,568
(3) 貸倒引当金()	1,110
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,466,802
1 固定負債	3,984,998
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,980,060
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,938
2 流動負債	265,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	182,698
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,481
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,413
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,216,578
(1) 長期前受金	2,913,511
(2) 長期前受金収益化累計額()	696,933
資本合計	883,695
1 資本金	1,353
2 剰余金	882,342
(1) 資本金剰余金	2,265,273
(2) 利益剰余金	-1,382,931
負債・資本合計	7,350,497
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	475,068	474,050
資本勘定繰入	91,117	48,823
計	566,185	522,873

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2947.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	奈良県
				市町村・組合名	大和高田市
				病院名	大和高田市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,416 m ²	指定病院の状況	救臨 災		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	320	77.6	81.1	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	77.6	81.1	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.7	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	64,817	
決算規模(千円)	27,509,638	
標準財政規模(千円)	14,710,624	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	43.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.6
修正医業収益(千円)	6,922,472

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,415,225			
1 経常収益	7,414,930			
(1) 医業収益	7,062,972			
入院収益	4,365,358			
外来収益	2,328,973			
診療収入計	6,694,331			
その他医業収益	368,641			
(うち他会計負担金)	140,500			
(2) 医業外収益	351,958			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	212,000			
(うち長期前受金戻入)	16,498			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	295			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,816,010			
2 経常費用	7,814,218			
(1) 医業費用	7,393,164			
職員給与費	4,490,216	63.6	55.7	57.0
材料費	1,370,442	19.4	24.7	24.5
(うち薬品費)	694,439	9.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	631,735	8.9	11.0	11.3
減価償却費	350,861	5.0	9.0	9.3
経費	1,149,791	16.3	23.3	22.1
(うち委託料)	717,074	10.2	11.5	11.1
研究研修費	19,383			
資産減耗費	12,471			
(2) 医業外費用	421,054			
(うち支払利息)	62,605	0.9	1.4	1.4
(3) 特別損失	1,792			
損益				
経常損益	-399,288			
純損益	-400,785			
累積欠損金	690,038			
経常収支比率	94.9		97.7	96.4
医業収支比率	95.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	90.4		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,300,519
1 固定資産	5,044,027
(1) 有形固定資産	4,962,952
(2) 無形固定資産	1,823
(3) 投資その他の資産	79,252
2 流動資産	1,256,492
(1) 現金及び預金	102,347
(2) 未収金及び未収収益	1,116,568
(3) 貸倒引当金()	5,761
(4) 貯蔵品	43,338
3 繰延資産	-
負債合計	6,261,290
1 固定負債	4,373,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,978,671
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,394,996
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,541,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	642,864
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	273,995
(6) リース債務	324
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	613,566
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	346,476
(1) 長期前受金	616,205
(2) 長期前受金収益化累計額()	269,729
資本合計	39,229
1 資本金	521,267
2 剰余金	-482,038
(1) 資本金剰余金	208,000
(2) 利益剰余金	-690,038
負債・資本合計	6,300,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	508,520	352,500
資本勘定繰入	374,079	208,000
計	882,599	560,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	奈良県
	市町村・組合名	生駒市
	病院名	生駒市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	28,094 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	16	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	210	55.8	61.5	68.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	55.8	61.5	68.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	17.2	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	118,233	
決算規模(千円)	40,058,251	
標準財政規模(千円)	22,739,313	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	582,591			
1 経常収益	582,591			
(1) 医業収益	81,713			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	81,713			
(うち他会計負担金)	69,446			
(2) 医業外収益	500,878			
(うち国・都道府県補助金)	504			
(うち他会計補助・負担金)	151,836			
(うち長期前受金戻入)	97,144			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	492,033			
2 経常費用	492,033			
(1) 医業費用	476,560			
職員給与費	18,314	22.4	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	385,223	471.4	9.0	9.9
経費	73,023	89.4	23.3	27.7
(うち委託料)	12,864	15.7	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,473			
(うち支払利息)	15,473	18.9	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	90,558			
純損益	90,558			
累積欠損金	1,121,900			
経常収支比率	118.4		97.7	96.3
医業収支比率	17.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	38.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	270.8		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	38.0		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	73.4		85.7	83.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,826,643
1 固定資産	6,698,934
(1) 有形固定資産	6,691,986
(2) 無形固定資産	6,948
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	127,709
(1) 現金及び預金	121,831
(2) 未収金及び未収収益	5,878
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,748,543
1 固定負債	6,118,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,594,962
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	2,372,324
(5) その他の長期借入金	151,627
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,025,041
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	983,275
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,415
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,151
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	604,589
(1) 長期前受金	1,069,302
(2) 長期前受金収益化累計額()	464,713
資本合計	-921,900
1 資本金	200,000
2 剰余金	-1,121,900
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,121,900
負債・資本合計	6,826,643
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	921,900
資本不足額(繰延収益控除後)()	317,311
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.6
修正医業収益(千円)	12,267

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	85,078	221,282
資本勘定繰入	491,488	242,788
計	576,566	464,070

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1373.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	奈良県
	市町村・組合名	宇陀市
	病院名	宇陀市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,498 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	176	81.4	74.8	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	176	81.4	74.8	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		23.6	25.3	23.3

設立団体の状況		
人口(人)	31,105	
決算規模(千円)	18,395,682	
標準財政規模(千円)	10,934,961	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	103.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.4
	将来負担比率(%)	124.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.0
修正医業収益(千円)	3,079,933

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,515,225			
1 経常収益	3,472,225			
(1) 医業収益	3,137,971			
入院収益	2,067,384			
外来収益	902,866			
診療収入計	2,970,250			
その他医業収益	167,721			
(うち他会計負担金)	58,038			
(2) 医業外収益	334,254			
(うち国・都道府県補助金)	627			
(うち他会計補助・負担金)	180,917			
(うち長期前受金戻入)	18,370			
(うち資本費繰入収益)	111,223			
(3) 特別利益	43,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,658,005			
2 経常費用	3,657,776			
(1) 医業費用	3,500,186			
職員給与費	1,996,501	63.6	55.7	61.3
材料費	494,697	15.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	180,637	5.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	314,026	10.0	11.0	8.2
減価償却費	263,325	8.4	9.0	10.2
経費	722,721	23.0	23.3	30.5
(うち委託料)	397,358	12.7	11.5	13.0
研究研修費	6,541			
資産減耗費	16,401			
(2) 医業外費用	157,590			
(うち支払利息)	41,659	1.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	229			
損益				
経常損益	-185,551			
純損益	-142,780			
累積欠損金	3,094,377			
経常収支比率	94.9		97.7	96.5
医業収支比率	89.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	88.4		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,915,515
1 固定資産	4,151,567
(1) 有形固定資産	4,102,005
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	49,562
2 流動資産	763,948
(1) 現金及び預金	254,854
(2) 未収金及び未収収益	506,769
(3) 貸倒引当金()	840
(4) 貯蔵品	3,165
3 繰延資産	-
負債合計	4,124,383
1 固定負債	3,104,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,780,714
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	324,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	583,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	197,873
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	132,100
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	247,591
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	435,900
(1) 長期前受金	727,112
(2) 長期前受金収益化累計額()	291,212
資本合計	791,132
1 資本金	3,591,827
2 剰余金	-2,800,695
(1) 資本剰余金	293,682
(2) 利益剰余金	-3,094,377
負債・資本合計	4,915,515
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	296,710	238,955
資本勘定繰入	120,422	162,323
計	417,132	401,278

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	奈良県
		市町村・組合名	大淀町
		病院名	大淀病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	18,069	
決算規模(千円)	7,648,871	
標準財政規模(千円)	4,780,948	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	7.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,945			
1 経常収益	1,945			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,945			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,945			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,945			
2 経常費用	1,945			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	1,945			
(うち支払利息)	1,945	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	-		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,297	1,945
資本勘定繰入	27,748	41,622
計	29,045	43,567

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	奈良県
				市町村・組合名	国保中央病院組合
				病院名	国保中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,249 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	220	62.2	66.6	68.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	62.2	66.6	68.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.7	11.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.9
修正医業収益(千円)	2,860,679

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,264,961			
1 経常収益	3,264,961			
(1) 医業収益	2,935,849			
入院収益	1,989,859			
外来収益	744,665			
診療収入計	2,734,524			
その他医業収益	201,325			
(うち他会計負担金)	75,170			
(2) 医業外収益	329,112			
(うち国・都道府県補助金)	14,985			
(うち他会計補助・負担金)	233,205			
(うち長期前受金戻入)	59,813			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,173,373			
2 経常費用	3,172,835			
(1) 医業費用	3,047,790			
職員給与費	2,018,715	68.8	55.7	59.8
材料費	390,918	13.3	24.7	19.0
(うち薬品費)	200,632	6.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	164,180	5.6	11.0	9.2
減価償却費	156,751	5.3	9.0	9.9
経費	466,510	15.9	23.3	27.7
(うち委託料)	268,950	9.2	11.5	12.4
研究研修費	6,808			
資産減耗費	8,088			
(2) 医業外費用	125,045			
(うち支払利息)	38,820	1.3	1.4	1.5
(3) 特別損失	538			
損益				
経常損益	92,126			
純損益	91,588			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.9		97.7	96.3
医業収支比率	96.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	9.4		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	93.2		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,551,544
1 固定資産	2,997,501
(1) 有形固定資産	2,987,554
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	9,947
2 流動資産	2,554,043
(1) 現金及び預金	2,103,817
(2) 未収金及び未収収益	451,791
(3) 貸倒引当金()	1,565
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,191,871
1 固定負債	1,887,566
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	991,260
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	896,306
(7) リース債務	-
2 流動負債	608,324
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	261,628
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	132,594
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	191,109
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	695,981
(1) 長期前受金	1,111,462
(2) 長期前受金収益化累計額()	415,481
資本合計	2,359,673
1 資本金	852,404
2 剰余金	1,507,269
(1) 資本金剰余金	476,722
(2) 利益剰余金	1,030,547
負債・資本合計	5,551,544
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	319,142	308,375
資本勘定繰入	156,326	91,063
計	475,468	399,438

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	奈良県
				市町村・組合名	南和広域医療企業団
				病院名	南奈良総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,396 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	25	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	228	97.9	94.9	96.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	42.1	41.6	39.0
計	232	97.0	94.0	95.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	13.5	14.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.9
修正医業収益(千円)	6,245,456

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,075,082			
1 経常収益	8,075,082			
(1) 医業収益	6,475,992			
入院収益	4,106,638			
外来収益	1,865,154			
診療収入計	5,971,792			
その他医業収益	504,200			
(うち他会計負担金)	230,536			
(2) 医業外収益	1,599,090			
(うち国・都道府県補助金)	109,342			
(うち他会計補助・負担金)	334,579			
(うち長期前受金戻入)	1,065,783			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,069,183			
2 経常費用	8,068,363			
(1) 医業費用	7,624,440			
職員給与費	3,746,812	57.9	55.7	59.8
材料費	1,250,193	19.3	24.7	19.0
(うち薬品費)	538,666	8.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	711,390	11.0	11.0	9.2
減価償却費	1,132,303	17.5	9.0	9.9
経費	1,478,072	22.8	23.3	27.7
(うち委託料)	1,017,602	15.7	11.5	12.4
研究研修費	17,060			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	443,923			
(うち支払利息)	29,335	0.5	1.4	1.5
(3) 特別損失	820			
損益				
経常損益	6,719			
純損益	5,899			
累積欠損金	790,264			
経常収支比率	100.1		97.7	96.3
医業収支比率	84.9		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	93.1		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,457,674
1 固定資産	13,398,856
(1) 有形固定資産	13,036,978
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	361,878
2 流動資産	3,058,818
(1) 現金及び預金	1,741,362
(2) 未収金及び未収収益	1,272,673
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	43,077
3 繰延資産	-
負債合計	15,299,772
1 固定負債	6,083,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,811,854
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	379,794
(6) 引当金	891,531
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,717,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	636,575
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当金	287,217
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	709,979
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,499,473
(1) 長期前受金	12,400,843
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,901,370
資本合計	1,157,902
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	157,902
(1) 資本金剰余金	1,228,734
(2) 利益剰余金	-1,070,832
負債・資本合計	16,457,674
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	685,667	565,115
資本勘定繰入	345,256	612,269
計	1,030,923	1,177,384

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	奈良県
		市町村・組合名	南和広域医療企業団
		病院名	吉野病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,843 m ²	指定病院の状況	
診療科数	2	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	85.8	83.5	81.5
療養	46	91.6	89.2	91.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	88.6	86.2	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.0	19.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.5
修正医業収益(千円)	859,800

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,083,788			
1 経常収益	1,083,788			
(1) 医業収益	905,012			
入院収益	647,039			
外来収益	174,557			
診療収入計	821,596			
その他医業収益	83,416			
(うち他会計負担金)	45,212			
(2) 医業外収益	178,776			
(うち国・都道府県補助金)	299			
(うち他会計補助・負担金)	114,438			
(うち長期前受金戻入)	60,260			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,006,110			
2 経常費用	1,006,098			
(1) 医業費用	982,189			
職員給与費	586,968	64.9	55.7	72.6
材料費	76,049	8.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	36,363	4.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,663	4.4	11.0	5.6
減価償却費	71,180	7.9	9.0	11.1
経費	247,683	27.4	23.3	31.9
(うち委託料)	150,738	16.7	11.5	13.0
研究研修費	309			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,909			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	12			
損益				
経常損益	77,690			
純損益	77,678			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.7		97.7	97.4
医業収支比率	92.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	91.9		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,457,674
1 固定資産	13,398,856
(1) 有形固定資産	13,036,978
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	361,878
2 流動資産	3,058,818
(1) 現金及び預金	1,741,362
(2) 未収金及び未収収益	1,272,673
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	43,077
3 繰延資産	-
負債合計	15,299,772
1 固定負債	6,083,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,811,854
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	379,794
(6) 引当金	891,531
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,717,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	636,575
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当	287,217
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	709,979
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,499,473
(1) 長期前受金	12,400,843
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,901,370
資本合計	1,157,902
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	157,902
(1) 資本金剰余金	1,228,734
(2) 利益剰余金	-1,070,832
負債・資本合計	16,457,674
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	119,313	159,650
資本勘定繰入	10,508	-
計	129,821	159,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	奈良県
				市町村・組合名	南和広域医療企業団
				病院名	五條病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,366 m ²	指定病院の状況			
診療科数	3	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	45	89.4	87.1	79.9
療養	45	53.5	81.5	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	71.5	85.2	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	17.1	31.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.0
修正医業収益(千円)	610,735

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	887,040			
1 経常収益	887,040			
(1) 医業収益	639,152			
入院収益	501,747			
外来収益	91,429			
診療収入計	593,176			
その他医業収益	45,976			
(うち他会計負担金)	28,417			
(2) 医業外収益	247,888			
(うち国・都道府県補助金)	299			
(うち他会計補助・負担金)	79,943			
(うち長期前受金戻入)	166,993			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	930,055			
2 経常費用	930,052			
(1) 医業費用	911,205			
職員給与費	451,151	70.6	55.7	72.6
材料費	56,242	8.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	26,552	4.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,673	4.6	11.0	5.6
減価償却費	230,313	36.0	9.0	11.1
経費	173,350	27.1	23.3	31.9
(うち委託料)	118,864	18.6	11.5	13.0
研究研修費	149			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	18,847			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	3			
損益				
経常損益	-43,012			
純損益	-43,015			
累積欠損金	495,638			
経常収支比率	95.4		97.7	97.4
医業収支比率	70.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	83.7		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,457,674
1 固定資産	13,398,856
(1) 有形固定資産	13,036,978
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	361,878
2 流動資産	3,058,818
(1) 現金及び預金	1,741,362
(2) 未収金及び未収収益	1,272,673
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	43,077
3 繰延資産	-
負債合計	15,299,772
1 固定負債	6,083,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,811,854
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	379,794
(6) 引当金	891,531
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,717,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	636,575
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当	287,217
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	709,979
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,499,473
(1) 長期前受金	12,400,843
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,901,370
資本合計	1,157,902
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	157,902
(1) 資本金剰余金	1,228,734
(2) 利益剰余金	-1,070,832
負債・資本合計	16,457,674
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	84,179	108,360
資本勘定繰入	6,199	-
計	90,378	108,360

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。